

開設の目的・概要 等			
本講座では、様々な目的に対して行われる臨床研究や薬剤疫学研究としてリアルワールドデータ(RED)の利用可能性や研究デザイン、解析手法、研究結果の妥当性を客観的に評価し、RWDから創出されるリアルワールドエビデンスの評価研究を推進することを目的とする。 本講座の研究代表を務める桑鶴良平はデータサイエンス推進講座を兼務しており、民間企業が提供するデータベースに不足している情報を含んだ臨床研究向けのデータベース Clinical Data Warehouseの構築、及びそれを用いた臨床研究を推進している。本講座では、このClinical Data Warehouseと連携し、一般的なデータベース研究の利用可能性とClinical Data Warehouseを始めとする電子カルテ由来の診療情報データベース研究の利点などを客観的に評価する。同時にRWDを使用する臨床研究のデザイン、因果推論、予測モデル、機械学習等の方法論についても評価し、質の高い信頼できるリアルワールドエビデンスの創出を目指す。 また、将来的には、モバイルヘルスで収集したデータにも眼を向けたい。			
区分	番号	全著者名,論文名,掲載誌名, 掲載年； 巻（号）：ページ番号	
英文総説	1	Thomas Laurent,Jason Simeone,Ryohei Kuwatsuru,Takahiro Hirano,Sophie Graham,Ryozo Wakabayashi,Robert Phillips,Tatsuya Isomura, Context and Considerations for Use of Two Japanese Real-World Databases in Japan: Medical Data Vision and Japanese Medical DataCenter, Drugs - Real WorldOutcomes,2022	国際共同